

長期使用対応部材(CJK部材)への取り組みについて

サッシメーカー各社は、住宅を長く住み継ぐ為の住宅部材の標準化に向け、長期使用対応部材(CJK部材)の採用拡大に取り組んでいます。

また、当該部材に付与される「CJKマーク」の表示については、部品カタログ等への掲載を基本として運用してまいります。

長期使用住宅部材標準化推進協議会(略称:長住協)とは

本協議会は、平成19年4月、経済産業省に設置された「今後の住宅産業のあり方に関する研究会」の報告を受け、住宅メーカー、住宅設備メーカー、建材メーカー等の先駆的な企業が集まり、住宅の長期使用に欠かせないメンテナンスに着目した「長期使用対応部材」の標準化を図る事を目的に、平成20年7月に設立されました。本協議会では住宅部材・部品の標準化に向けた整理・研究並びに普及策等の検討が行われ、それについての基準書の制定が進められています。

現在、住宅産業及び建材・部品・住宅設備等の関連企業57社(平成26年10月現在)が参画し、会員数については、年々増加傾向にあります。

長期使用対応部材(CJK部材)とは

長期使用対応部材(CJK部材)とは、長期にわたってメンテナンスを容易にする為に主に寸法に互換性を持たせた部品・部材のことです。

当部材は、住宅部品・部材の標準(共通)化の推進団体として設立された「長期使用住宅部材標準化推進協議会(長住協)」により定められています。

長期使用対応部材の詳細は
長住協HPをご参照ください

▶ CJK部材基準書

登録部材数

長期使用対応部材(CJK部材)基準書には、平成26年10月現在、全34品目が登録されています。

※長期使用対応部材は、主に寸法の標準(共通)化について規定するものであり、品質性能その他の仕様については、基準の対象としておりません。

CJKマークとは

長住協が定める長期使用対応部材(CJK部材)のシンボルマークです。

※長期使用住宅部材標準化推進協議会の略称「長住協(CHOJUKYO)」の頭文字に、家と人のモチーフを加えデザインしたものです。“人”をイメージしたCJKの文字を“家”で包み込むことで、長期使用対応部材が使われた安心・快適に暮らせる家を表現しています。



一般社団法人 日本サッシ協会は、長住協の取り組みに対し、長期使用対応部材採用の推進および普及促進に協力しています。

長住協HP ⇒ <http://www.chojukyo.jp/index.html>